

史泉

第五十七号

山崎寿雄教授の御急逝を悼む……………	河野 通博 (1)
天曆三年の「神祇官勘文」の一考察……………	二宮 正彦 (4)
戦国期近衛家の家産経済の記録……………	湯川 敏治 (13)
——「雑事要録」・「雑々記」について——	
蕃山農兵論における「無欲」の社会……………	遊佐 教寛 (35)
明治八・九年の「奈良博覧会」陳列目録について(下)……………	高橋 隆博 (47)
フランドル自己商業[Eigenhandel]衰退の影響……………	小西 陽子 (83)
——十三世紀のガンに関して——	
〈書評〉	
森鹿三監修『水経注(抄)』訳を論評す……………	陳 橋驛 (90)
金 秀雄訳	
昭和五十六年度 史学・地理学科卒業論文題目	
(一部・二部・大学院)……………	(106)

昭和五十七年度 関西大学史学会大会

日 時 昭和五十七年十二月四日(土) 午前九時二十分開会

会 場 関西大学第一学舎 三号館 五階 視聴覚教室

〔研究発表〕

- 1 教科書問題
——解放教育の立場から——
井上 正一
 - 2 中世後期における農民結合
——池水灌漑を中心に——
江 壽 文寿
 - 3 興玉神社の宮座
宮前 浩幸
 - 4 加計呂麻島の祭祀組織
嘉原 優子
 - 5 海岸段丘とその変形
——紀伊半島南部を例として——
米本 和弘
 - 6 軍事教育について
——とくに一九二〇年代の学校教練について——
松本 裕行
 - 7 奈良時代における玉の存在形態について
赤座 厚司
 - 8 「ひとつもの」とその周辺
東条 寛
 - 9 C・H・ハスキンスの
「一二世紀ルネサンス」論
今竹 豊
——翻訳運動、科学、哲学の復興について——
 - 10 大阪市内の気温測定について
——その結果報告と若干の考察——
遠川 明彦
 - 11 足利義晴政権と六角定頼
——大永末と天文初年の動向を中心に——
南 尊融
 - 12 雄略天皇の即位
——皇位継承研究の一視点——
寺西 貞弘
 - 13 菊池海荘の農兵策
——幕末紀州の海防論議——
遊佐 教寛
 - 14 兵庫県下出土の古鏡について
櫃本 誠一
 - 15 横穴式石室とその構築者について
——とくに大和を中心として——
北垣聰一郎
- 〔講演〕
象形文字とコプト文字
加藤 一朗教授
- 〔総 会〕 議事 学会名変更 その他
〔懇親会〕 於法文第二会議室

史 泉 第五十六号

シルクロードを訪ねて

シルクロードの自然	河野 通博
シルクロードの建築	山田 幸一
出土文物にみる古代技術	下間 頼一
大雁塔と小雁塔	井上 薫
西域の詩	奥村 郁三

摂州大門寺一切経抄……………末永 雅雄

明治八・九年の

「奈良博覧会」陳列目録について(上)……………高橋 隆博

《資料紹介》

玉手山七号墳採集の石製盒子……………白神 典之

昭和五十五年度 史学・地理学科卒業論文題目

(一部・二部・大学院)

昭和55年度 関西大学史学会収支決算報告書

前年度より繰越	209,427円
収 入	1,020,804円
会 費	896,214円
史 泉 売 上	31,100円
寄 付 (蘭田・小山二博士 士記念会より)	48,235円
利 息	21,055円
レジュメ売上	24,200円
<hr/>	
支 出	967,590円
事 務 費	50,600円
史学会大会費	94,200円
史 泉 55号	698,750円
史 泉 送 料	19,400円
事 務 員 謝 金	98,640円
会 費 返 金	6,000円
<hr/>	
差 引 残 高	262,641円

昭和56年度 関西大学史学会収支決算報告書

前年度より繰越	262,641円
収 入	1,066,102円
会 費	980,606円
史 泉 売 上	38,090円
利 息	26,406円
レジュメ売上	21,000円
<hr/>	
支 出	918,550円
事 務 費	55,440円
史学会大会費	121,000円
史 泉 56号	540,800円
史 泉 送 料	49,560円
振込用紙・封筒印刷代	43,970円
日本歴史学会会費	5,000円
事務員謝金	102,780円
<hr/>	
差 引 残 高	410,193円

会 告

昭和五十七年十二月四日の総会の決議に従い、
昭和五十八年四月一日から、関西大学史学会の
名称を関西大学史学・地理学会と変更します。

関西大学史学会

史 泉 第五十七号

昭和五十七年十二月二十日 発行

大阪府吹田市千里山

編集者兼
発行者

関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

大阪市生野区桃谷五―三―三

印刷所

株式会社 聚文堂

電話代大阪(七二二)六七〇九

阡陵

関西大学博物館学課程創設二十周年記念特集

A5判上製 昭和五十七年五月
総七八〇頁 関西大学考古学等資料室発行

序	末永雅雄
博物館学課程開設二十周年の回顧	横田健一
山形県越中山遺跡群採集の資料と 瀬戸内技法についての一考察	山口卓也
「古墳発生」論の現況	上林史郎
古鏡の面反りについて	亀井清
いわゆる大化二年の「薄葬令」と 後期古墳構築をめぐる一考察	北垣聰一郎
飛鳥寺の槻の樹について	猪熊兼勝
瓦経片の復原研究	網干善教
——江口治郎氏寄贈の関西大学考古学資料について——	
紫・萌葱地片身替逆沢瀉威鎧	宮崎隆旨
「奈良漆器」の成立と展開	高橋隆博
竹内久一の「伎芸天」をめぐる 二・三の問題	浅井允晶
御田祭と代掻き棒	上井久義
祭日考——暗闇祭りのもつ意味	田中久夫
婚姻儀礼に於ける籠	近藤直也
明治文化の貢献者 神田孝平翁	角田芳昭
監燧之斎について	亀井清
博物館学雑考	小野勝年
——とくにその定義と奉仕をめぐる——	

関西大学博物館設立構想について	薄田桂
関西大学博物館構想について	勝部明生
歴史民俗資料館の設置と運営	富田好久
——池田市立資料館の場合——	
奈良県馬見丘陵の二・三の考古資料	泉森隆男
民俗資料の展示に関する一考察	岡幸二郎
博物館の課題	小西愛之助
関西大学古文書室について	村津弘明
『昭和史資料』の活用について	山野英嗣
美術館における普及教育活動	山野英嗣
——兵庫県立近代美術館を一例として——	
堺市博物館の常設展示について	井野明
川西市私立宮川石器館	亥野和夫
ギリシア二・三の博物館	一瀬博信
鼻飾考	石野信
——「インカ帝国黄金展」によせて——	
池田市立歴史民俗資料館の現状と課題	田中晋作
山鉾展示計画	猪熊兼勝
——昭和三十六年博物館実習の思い出——	
所謂漢韓系式土器の一例	米田文孝
「死者の書」訳注——第二五章——	波多野忠雅

資料編